



全力投球

石部中学校 校報
 湖南省宝来坂四丁目3-1
 TEL:77-3781 FAX:77-6802
<http://www.edu.konan.jp/ishibe-jh/>

夏季総体・県吹奏楽コンクールの結果について サッカー部、見事近畿大会出場！！

去る7月21日、22日に夏季総体ブロック予選、7月26日に県吹奏楽コンクール予選、7月27日、28日に県夏季総体、8月8日に近畿総体が開催され、生徒は懸命に走り・跳び、ボールを追いかけ、演奏をしました。普段の実力がなかなか出せずに悔しい思いをした人もいたと思いますが、3年生にとっては最後の公式試合となりました。

今まで3年間取り組んできた努力は、決して無駄にはなりません。皆さんが今までしてきた努力は、精神的にも肉体的にも「皆さんの内なる肥料」となって、これからの皆さんの人生を支えてくれると思います。

サッカー部は、見事県準優勝に輝きました。そして、近畿大会という晴れ舞台に出場することができました。「近畿大会」と一言で言いますが、決して簡単に出場することはできません。暑い日も寒い日も懸命にボールを追いかけ走った努力の成果だと思えます。サッカー部の皆さん、この近畿大会の出場を一生の宝として、誇りを持って生きていってほしいと思います。石部中学校としても、本校の名前を近畿に出してくれたことを感謝しています。

夏季総体ブロック予選結果

- サッカー 2回戦 石部2-0信楽、準決勝 x石部0-1甲南
 3決 x石部2-3甲賀 第4位 県大会出場
- 野球 1回戦 x石部0-1甲西(県大会)
- テニス女子 予選リーグ1勝2敗、決勝トーナメントx石部0-4甲西 個人戦入賞者なし
- 水泳競技 M.K 100m平泳ぎ:3位、200m平泳ぎ:4位 県大会出場
 M.S 100m自由形:2位、200m自由形:6位 県大会出場
- バレーボール女子 予選リーグ 1勝2敗
 決勝トーナメントx石部0-2甲西北、敗復戦 x石部0-2城山
- バスケット男子 2回戦 石部53-38水口、3回戦 x石部41-72土山
- バスケット女子 1回戦 x石部36-47水口
- 卓球男子 予選リーグ 2勝2敗、個人戦入賞者なし
- 卓球女子 予選リーグ 1勝4敗、個人戦入賞者なし
- 剣道 男子団体1勝3敗、個人戦入賞者なし

夏季総体県大会結果

- サッカー 1回戦 石部2-1玉川、準々決勝 石部2-0安土
 準決勝 石部0-0守山南(PK 4-3)
 決勝 x石部0-4甲南 準優勝 近畿大会出場決定
- 陸上 K.A (走り幅跳び)5m42cm 第11位
- 水泳 M.K (100m平泳ぎ)1'24"92 第17位 (200m平泳ぎ)3'01"39 第11位
 M.S (200m自由形)2'33"99 第9位 (100m自由形)1'06"41 第16位

吹奏楽コンクールブロック予選結果 銀賞

近畿総体結果

- サッカー 予選リーグ x石部(滋賀)0-3富雄南(奈良)
 x石部(滋賀)1-6盾津東(大阪)

県中学生広場「私の思い2007」県広場 3年生、S.Mさん、最優秀賞に輝く！！

去る8月26日（日）に高島市藤樹の里文化芸術会館で開催された「県中学生広場」で、本校から出場した3年生、S.Mさんが、見事最優秀賞（第1位）を獲得しました。

発表の『「あいさつ」の魔法』は、内容的にも、発表の仕方も大変すばらしく、多くの観客を感動させてくれました。

作文の内容は次の通りです。

「あいさつ」の魔法

石部中学校 3年 S.M

「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」。飲食店で職場体験をしたときに、一番大切に欠かせない言葉だと感じました。「いらっしゃいませ」はお客さんとの出会いで初めて交わす言葉、「ありがとうございます」はちょっと大げさだけど、別れの言葉。短いけれど心のこもった挨拶の言葉だと思います。でも、言葉だけでなくそこにはあるものが込められていることを体験しました。

私は以前、家で食事の時、たまに「いただきます」や「ごちそうさま」を言い忘れることがありました。その度に親から、「いただきますは？」と注意され、「なんでわざわざ言わなあかんの、めんどくさい」と思っていました。でも、職場体験をしてからはその気持ちが少しずつ変わっていきました。

職場の方から繰り返し繰り返し言われたこと、それは『あいさつは必ずする』。そんなに大きくなくていいけど、相手にはっきり聞こえるように、そして笑顔を忘れないことでした。いきなり言われ、無理な注文だと思いました。初日は職場のルールややり方を覚えるので精一杯、接客の時も口が言うことを聞きません。口ごもるだけで一日が終わりました。二日目も緊張感から声が出ず、自信がなくなっていました。そんな私を見かねて女将さんが「とにかく大きい声を出したらいい」とアドバイスをくださいました。

三日目はまず声をだすように心がけました。そんな時「ありがとうございます」と言ったとき、「おいしかったよ」「頑張っているね」と声をかけてくださったお客さんがありました。すごく嬉しい気分になり、その言葉がすごく励みになって、声もどんどん出せるようになりました。自分が発した言葉によって、相手が返してくれる、それによって気分が変わってくることに気づかされました。四日目にしていたお皿洗いや片付けの時、お店の方から「丁寧だね」とか「ありがとう」と声をかけてくださってこのことを実感しました。疲れも吹き飛ばすほど嬉しくなったのです。

この職場体験をとおして、自分から声をかけることによって返してくれる人がいるということ、返してくれるとすごく嬉しくなり、それが励みになってどんどんやる気につながっていったこと、言葉の持つ魔力について感じさせられました。

朝起きたときに以前は母から声をかけてくれていたのですが、今は自分から「おはよう」の挨拶をするようになりました。そこから母との会話もつながっていきます。家族とだけでなく、近所の人とも挨拶をするようになりました。「おはようございます」と言えば「おはよう」と返ってくる、そんなテンポの良い会話で気分爽快になれます。言葉は本当に不思議です。

これらの体験から、「言葉」について考えさせられたことがたくさんありました。言葉を発することの大切さ、そしてその言葉を返されることによって生まれてくる気持ちの変化。言葉は「魔法」だと感じました。その言葉は人間関係づくりにも重要なものだと思います。それはコミュニケーションです。それもただ話をするのではなく、相手をしっかり見ることです。目を見るとかだけではなく、その人がどんな気持ちなのかが分かるようにするのが大事だと思います。よく、相手の目を見て話しなさいと言われます。それは自分の言ったことが相手にどんな風に伝わっているか、自分が言ったことに対して相手が嫌な気持ちになってないか、を考えながら話すことが大事だからではないでしょうか。これができてこそ本当のコミュニケーションだと思います。そのコミュニケーションのきっかけとなるのが挨拶だと思います。挨拶からコミュニケーションへと広がります。その挨拶を私は相手をしっかりと見つめ心を込めてしていきます。

この「中学生広場」の様子は、9月3日（月）21：00～21：15、びわ湖放送「教育ウィークリーレポート」で放映されます。是非ご覧ください。